

熊本地域医療センターだより

院長 廣田昌彦

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

平成30年(2018年)2月発行

通算153号

2018 2月号

【オウムガイ】



熊本地域医療センター理念

かかってよかった。

紹介してよかった。

働いてよかった。 そんな病院をめざします。

CONTENTS

- | | | |
|----|-------------|-----------|
| 2面 | 超音波検査室 | / 感染対策研修会 |
| 3面 | 年末年始の外来業務 | / 親栄会・忘年会 |
| 4面 | 市民公開講座のお知らせ | |

熊本地域医療センターが支える地域ブランド 「熊本方式」

院長 廣田 昌彦

当院の休日・夜間急患センターを中心とした救急医療体制のことが「熊本方式」と呼ばれています。この「熊本方式」という言葉は、使う立場によって少しずつ内容が異なり、どうも3種類の「熊本方式」があるように思います。多くの人が頭に思い浮かべる定義は、「内科、小児科、外科の3診療科が揃って24時間対応する一次・二次救急医療体制のこと」だと思います。準夜帯と休祭日勤務帯を開業Dr.、深夜帯を熊本大学医局Dr.が担当し、当院常勤医がその後方支援を行う仕組みです。このスタイルは「三位一体方式」とも呼ばれています。年間患者数は3万3千人ですので、1日平均で90人程度のご来院です。1日500人を超える患者さんが来院されることもあります。

これに対して、狭義には、小児救急医療の仕組みが特に取り上げられて「熊本方式」と呼ばれています。これには、

当院創立時の熊本市医師会長（末藤 栄先生）が小児科がご専門で、小児救急医療が市民へのアピールポイントであったこと、小児科医会「芝蘭会」を通した小児科医間の人的な絆が強固であること、「ホッとハッと小児診療研究会」で救急症例の検討を行い生涯学習にもつなげていること、などが背景にあるようです。

一方、広義には、一次・二次救急を当院と日赤の休日夜間急患センターと医師会の先生方が担当し、二次・三次救急を、国立、済生会、日赤の救命救急センターと熊大病院が担当するという分業体制が「熊本方式」と呼ばれます。行政の方々は、広義の意味での「熊本方式」を使用することが多いようです。

ところで、「熊本方式」のように、「○○方式」というふうに地域名を使って政策を展開することを「地域ブランド政策」「地域冠政策」と言うのだそうです。興味を持た

れた方は大阪商大総合経営学部教授、初谷 勇先生の「地域ブランド政策論 地域冠政策方式による都市の魅力創造（日本評論社刊）」を読んでみられるとよいと思います。「熊本方式」についても取り上げられています。なお、この「熊本方式」は昼間も働いた医師達の時間外労働によって支えられています。休日夜間に働く医師の数は、熊本市という都市部でさえ確保できていないのです。

「熊本方式」には3種類の意味がありますが、我が熊本地域医療センターはそのどれにおいても重要な役割を果たしています。地域ブランド「熊本方式」におけるキープレイヤー、熊本地域医療センターをどうぞよろしくお願い申し上げます。



こんにちは、超音波検査室です！

臨床検査部課長補佐 緒方 俊二

医師会の先生方には、平素より大変お世話になっております。

当院超音波検査室は、月～金曜日 8：30～17：00 の時間帯で、腹部・体表領域の検査を1日20～30名ほど施行しています。腹部領域は、絶食での検査が基本となるため、午前の検査がメインになりますが、食事の影響がない症例や昼止めでの検査が可能な症例は、午後からも検査を実施しております。多少の待ち時間は発生しますが、当日でも検査の受け入れは可能ですので、遠慮なくご連絡頂ければと思います。

当院では、日本超音波医学会認定の超音波検査士7名が交代で、各曜日の担当医師指導のもと検査を施行しています。腹部領域では、肝胆脾など消化器臓器のほか、必要に応じて胃、大腸など消化管も対象領域として検査していま

す。小児科の急性腹症は、可能な限り虫垂を描出し、急性虫垂炎との鑑別を行っています。大人の場合でも、急性虫垂炎と憩室炎との鑑別が必要なことも多く、病変を描出することで、超音波検査でも鑑別できるようになってきています。また、鼠径ヘルニアでは下腹壁動静脈を確認し、ヘルニア門との位置関係で内・外鼠径ヘルニアの超音波診断を行っています。

体表領域は、乳腺、甲状腺、表在リンパ節等を対象として検査しております。乳がんや、甲状腺がんなど悪性が疑われる場合には、専門の外科医師により、細胞診や組織診検査まで実施し診断しています。ただし、細胞診や組織診検査は、施行できる曜日が限られており、担当医師が診療の合間に施行している関係で、検査予約ではなく担当医師の外来にご紹介頂いたほうがスム

ーズに検査できると思われます。

また、研修施設としても医師や技師など、市内外からの研修を受け入れており、相互のスキルアップに繋がっています。医師会立の病院として、会員の先生方からたくさん紹介があり、貴重な症例が集まっていますので、稀な症例に遭遇することも少なくありません。これから超音波検査を始める方だけでなく、経験者の症例研修の場としても役立つのではないかと思っております。

超音波検査室のほか、多くの検査項目を施行している生理検査室や、24時間眠らない緊急検査室もがんばっています。これからも「正確・迅速

信頼される検査室」をモットーに努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年度 第2回感染対策研修について

感染管理認定看護師 長尾 美鈴

12月20日に今年度2回目の感染対策研修会を開催しました。今回は、冬季に流行するインフルエンザとノロウイルス感染症の予防策を中心に行いました。飛沫予防策や咳エチケット、接触予防策や安全な吐物処理は、現場では日常的に実施しているのですが、再度正しい知識を職員全員が再認識することで、院内感染防止に繋がります。また、患者隔離期間を院内で統一することが拡大防止につながるため、今回新たに設けました。

さらに、現在感染防止対策

が繰り返し学習できるよう視聴覚教材を作成しています。今回は、「安全な吐物処理の方法」のDVDを作成しました。感染防止に対する指導は、1度だけではなく繰り返し何度も行っていくことが重要です。そのためにも、直ぐに視聴でき学習できるDVD教材は有用なものです。今後も、様々な教材DVDを増やしていく予定です。会員の先生方の施設で、DVD

教材が必要な場合はお知らせ下さい。また、感染対策でお困りのことがあれば、いつでもご相談ください。



年末年始の外来業務を終えて

外来師長 橋 恭子

2018年を迎え、今年度の年末年始の外来業務を報告させていただきます。期間中の受診者数は、12月31日の436名をピークに1892名でした。インフルエンザの流行もあり、受診者数は前年度比88名の増加でした。眼科診療は診察室を変更し、インフルエンザの受診者とは離れた待合スペースを確保し対応させていただきました。12月29日より1月

3日まで、一部期間を除き診療しましたが、受診者数は昨年度より少なく60名でした。診療科ごとの受診者内訳は、例年に比べ内科受診者が多く、待ち時間は最大4時間に及ぶ日もありました。しかし休憩を返上して診療を続けてくださる出動協力の先生方の協力により、大きなトラブルなく診療することができました。また、救急車対応や緊急検査

等、コメディカルとの連携を図り、スムーズな対応ができたと思っております。受診者が多い中、事務部門の協力のもとトリアージが行え、緊急性に応じた診療を提供することができました。

御出動して頂いた先生方、また協力してくださった全ての皆様には、心より感謝申し上げます。

親栄会・忘年会

親栄会 郡山 泰章

昨年12月8日金曜日、ホテル日航に於いて、熊本地域医療センター親栄会忘年会が開催されました。師走のお忙しい中でしたが、多くの方にお集まりいただきました。はじめに親栄会会长の西奈津子先生からの会長挨拶があり、熊本市医師会会长の福島敬祐先生よりご挨拶をいただきまして、院長の廣田昌彦先生の盛大な乾杯にて会場が盛り上がったところで、忘年会は始まりました。豪華な料理やおいしいお酒もあり、会場は更なる盛り上がりをみせました。毎年の恒例となっている大抽選会では、お掃除ロボットのルンバをはじめとする豪華生活家電や、高額商品券などの景品を用意し、当選発表のたびに会場では歓声があがり、

例年に負けず劣らずの盛り上がりとなりました。また人気のスイーツバイキングは十分な量を用意したつもりでしたが、あっという間になくなってしまう大盛況ぶりでした。締めに、熊本市医師会代議員会議長の後藤和夫先生より万歳三唱をいただき、盛会の内

に閉会となりました。

最後になりましたが、年末の何かとお忙しい中ご出席いただきました来賓の先生方や職員の方々、そして、宴の進行に尽力してくださったホテル日航のスタッフや親栄会役員の方々、本当にありがとうございました。



出動協力医総会のお知らせ

出動協力医連絡室長 北村 伊佐雄

熊本市から熊本市医師会への委託事業である休日夜間診療業務は、多くの医師会の先生方のご尽力により成立して

おり、平素よりご理解とご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。平成29年度出動協力医総会および懇親会を下記の通り開催いたします。ご多用の折とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時
2. 場所

平成29年3月9日（金）19時より
メルパルク熊本

乳がんを知ろう

プログラム

講演1 乳がんの診断と外科治療

講演2 乳がんにおけるMRIの役割

講演3 乳がんの化学療法

講師 田嶋 ルミ子

熊本地域医療センター 外科医長

講師 吉村 明

熊本地域医療センター 放射線科

講師 竹下 卓志

熊本大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科

日時／2018年2月24日(土) 13:30開場 14:00開演 15:30終了(予定)

会場／熊本地域医療センター 新館6階ホール

定員／150名 参加費／無料 申込みは先着順です。定員になり次第締め切らせていただきます。

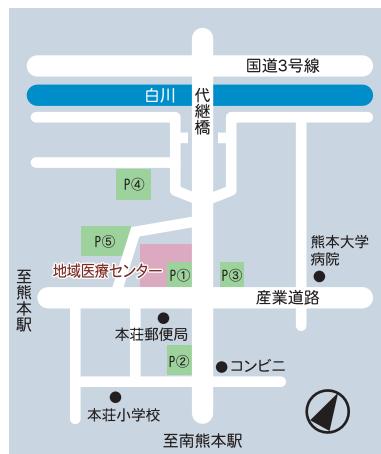
主催／熊本地域医療センター 後援／熊本市医師会



※ご参加には事前申し込みが必要です。
氏名、電話番号を下記までお電話ください。

熊本地域医療センター地域医療連携室
【電話 096(366)1323】

- 土日祝を除く 9時～17時
- 申込時の個人情報は、本講座の連絡・確認のためだけに利用します。



次回の **熊本地域医療センター勉強会** のお知らせ

日時／2月26日(月) 19時開始

場所／熊本地域医療センター本館2階多目的ルーム

外科・高城 克暢先生

「膵腫瘍の診断と治療」

CC 0：その他

院長:廣田 昌彦

発行責任者:地域医療連携室長 柳 文治

熊本地域医療センター〒860-0811 熊本市中央区本荘5-16-10

電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

電話番号(直通) 096-366-1323 FAX 096-363-3416

E-mail:renkei@krmc.or.jp ホームページアドレス:<http://krmc.or.jp>

編集後記

Y@インフルエンザが猛威を振い、雪がちらつくなか、春が待ち遠しいところです。「熊本方式」のキープレーヤーは今年もはりきっています。熊本地域医療センターをよろしくお願いします。

S@スリープマイスターというアプリを使って睡眠効率85%を目指します。

R@本紙3面にも載ってますが、親栄会忘年会の抽選会で1等のお掃除ロボットが当たっちゃいました♪